

代表質問へ東奔西走

首都圏や海士町で視察

代表質問に備え、東京、神奈川、島根県海士町のほか、県内企業、産業人材育成センターや産業技術センターなどを訪問しました。新聞記事やネット検索だけで安易に質問するのではなく、現地に出向き、当事者と議論する現場主義で質問を構築するのが会派希望の身上。深く正確な問題提起と将来を拓く提言を心がけています。

海士町長やスカイマーク社長と面談

11月3、4日、会派で隠岐の海士町を訪問。山内町長や各担当課長から聞き取り調査し、町立海産物研究センターや島前高校などを見学しました。「失敗は私がかバーするから、やって

特別号を発行

りれーしょん特別号を発行しました。新年のご挨拶でもお渡ししていますので、重複しましたら御家族御友人にお渡しいただければ幸甚です。



スカイマークの西久保社長と

職業訓練 職員に負担、体制強化を

10月23日から25日まで県中西部で県内調査しました。産業人材育成センターの倉吉校と米子校は、各科の専従の正規教員は原則1人で、多くの非正規職員で運営されていた他、実習用自動車は旧式で時代に即した整備の研修ができない、女性用のシャワー室がないなどの問題点につき、代表質問で改善を求めました。

産業技術センター有機・機械素材(鳥取)、無機素材(米子)、食品開発(境港)の各研究所では、企業訪問を繰り返してニーズを

ドスマイルカンパニーでお聞きした話は示唆に富んでいました。ベネッセが経営

する老人ホームに併設された学童クラブ生田は、豊かな老後と子育ての典型例でしたが、利用料は高額。考えさせられました。厚生労働省では健康寿命について説明を聞き、最後は羽田空港近くのスカイマーク本社も訪れ、西久保社長に米子就航を続けるよう要望しました。



山内海士町長

力、倉吉市に進出したコンテナ産産の雄であるグツ



産業人材センター倉吉校

すなば隆浩県政ひろば

〒680-0023 鳥取市片原1丁目107
TEL 0857-50-0130/FAX 50-0641
tottori-kodomo@olive.plala.or.jp
県政へのご意見・ご不満をお寄せ下さい
この紙面記載の記事は、下記のHPで詳しくご覧いただけます
<http://www.tottori-kodomo.jp>

編集後記

新年度予算編成に向け、会派要望書を作成中です。毎回、予算の必要理由を詳細に記載した分厚い要望書を提出し、知事には「まるで週刊誌ですね」と苦笑されてはいますが、8割を超えて要望が実現し、やり甲斐を感じる公務です。選挙前だからと手抜きせず、全力で取り組んでいます。一方、立候補予定者が戸別訪問を繰り返していると聞けば、心中穏やかではなく、県民の皆様は仕事を評価してくださると自分に言い聞かせて励む毎日です。本年も全力を尽くしますので、よろしくお願い致します。